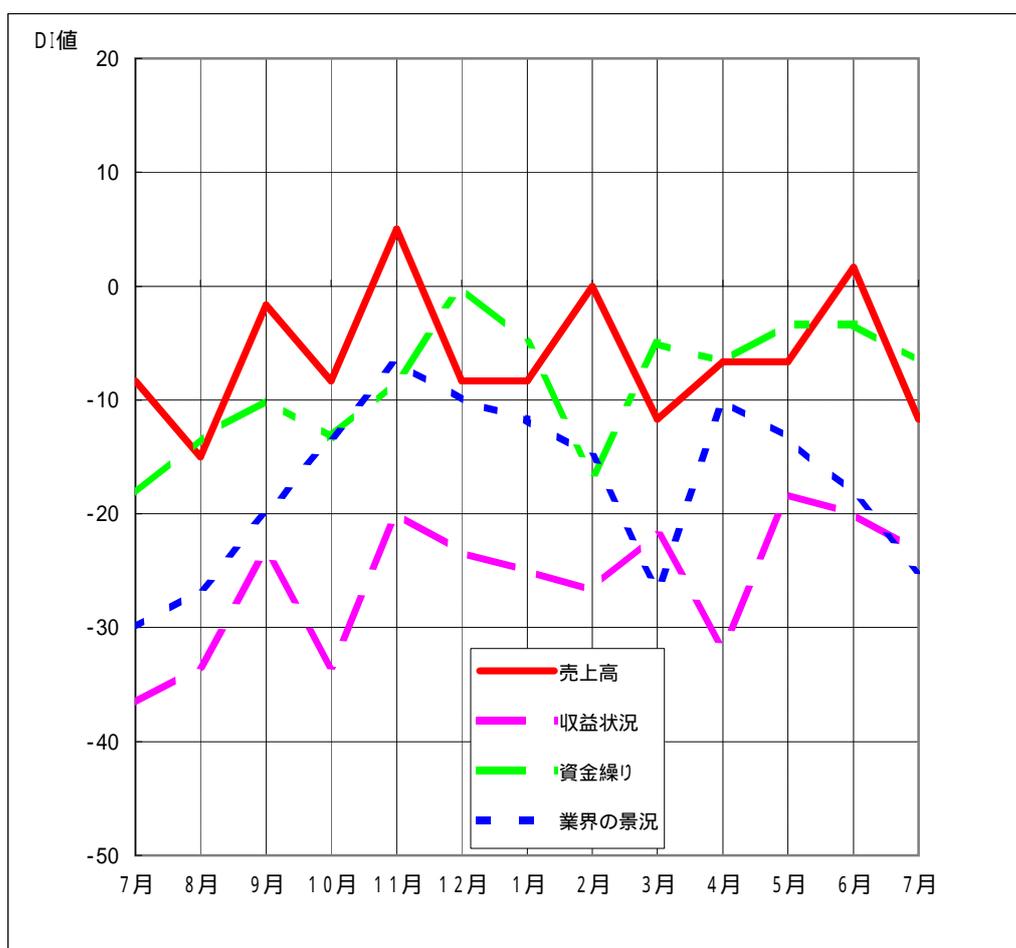


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成17年7月～平成18年7月

単位:ポイント



	H17						H18						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7
収益状況	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3
資金繰り	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7
業界の景況	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0

7月のDI値をみると、前年同月より「売上高」DI以外の上記3項目で好転した。「売上高」は前年同月より3.4ポイント悪化し、マイナス11.7に推移、「資金繰り」については、11.6ポイント改善し、マイナス一桁台に推移した。「収益状況」においては13.4ポイント、「業界の景況」は5.0ポイント改善し、それぞれマイナス23.3、マイナス25.0となった。

ここ3ヶ月の傾向をみると、「売上高」は一進一退で推移しているが、それ以外については下降傾向を辿っており、業種により格差はあるものの、厳しい状況が続いている。

組合の特記事項から、製造業では「木材・木製品」「窯業・土石製品」「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部において、受注減との報告が見受けられた。加えて、原材料高値推移・原油価格の高騰による影響等で、依然として収益が圧迫されている。

非製造業では、一部業種で受注増との声が見られたが、製造業同様、原材料費の高値推移・原油価格高騰により厳しい状況となっている。

県内の中小企業は前月期に引き続き、先行き不透明で厳しい状況が続いていることが窺える。